

チーム：複合災害防止

コンセプトシート

作品名	複合災害被害回避マップ
コンセプト・狙い・背景	地震後の降雨で、土砂崩壊が生じている。このような被害を防止する、危険エリアを抽出したハザードマップ
ターゲット	災害対策本部、リエゾン、地域住民 等
地図を使うシーン	災害発生直後ー24時間後ー復旧時
SARならではのポイント	<ul style="list-style-type: none">・土砂崩壊エリア（地形変化エリア）抽出・浸水域抽出

利用シーンのフロー

事象	災害発生		降雨発生	
To Do	状況把握 避難	復旧対策 二次被害予防策の 実施	危険な場合は、周囲に近づかないよう 注意喚起 等	
利用データ	SARデータ	(降雨予測データ)	(降雨データ) (土壌雨量指数 等)	
			<ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害警戒区域 ・浸水想定区域 	

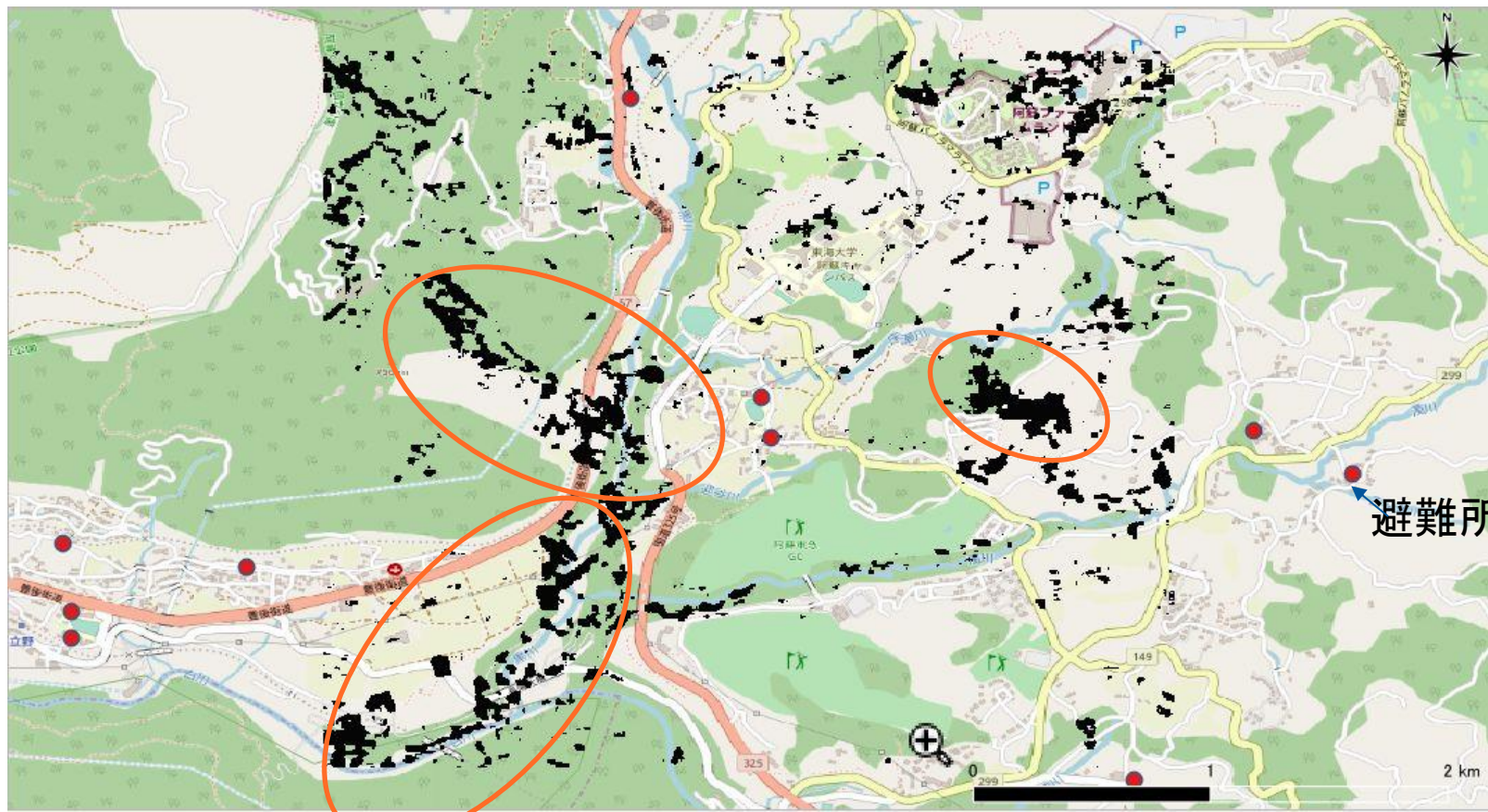
熊本エリアを対象に実施

災害マップについて

大規模な土砂崩壊推定エリア



黒川

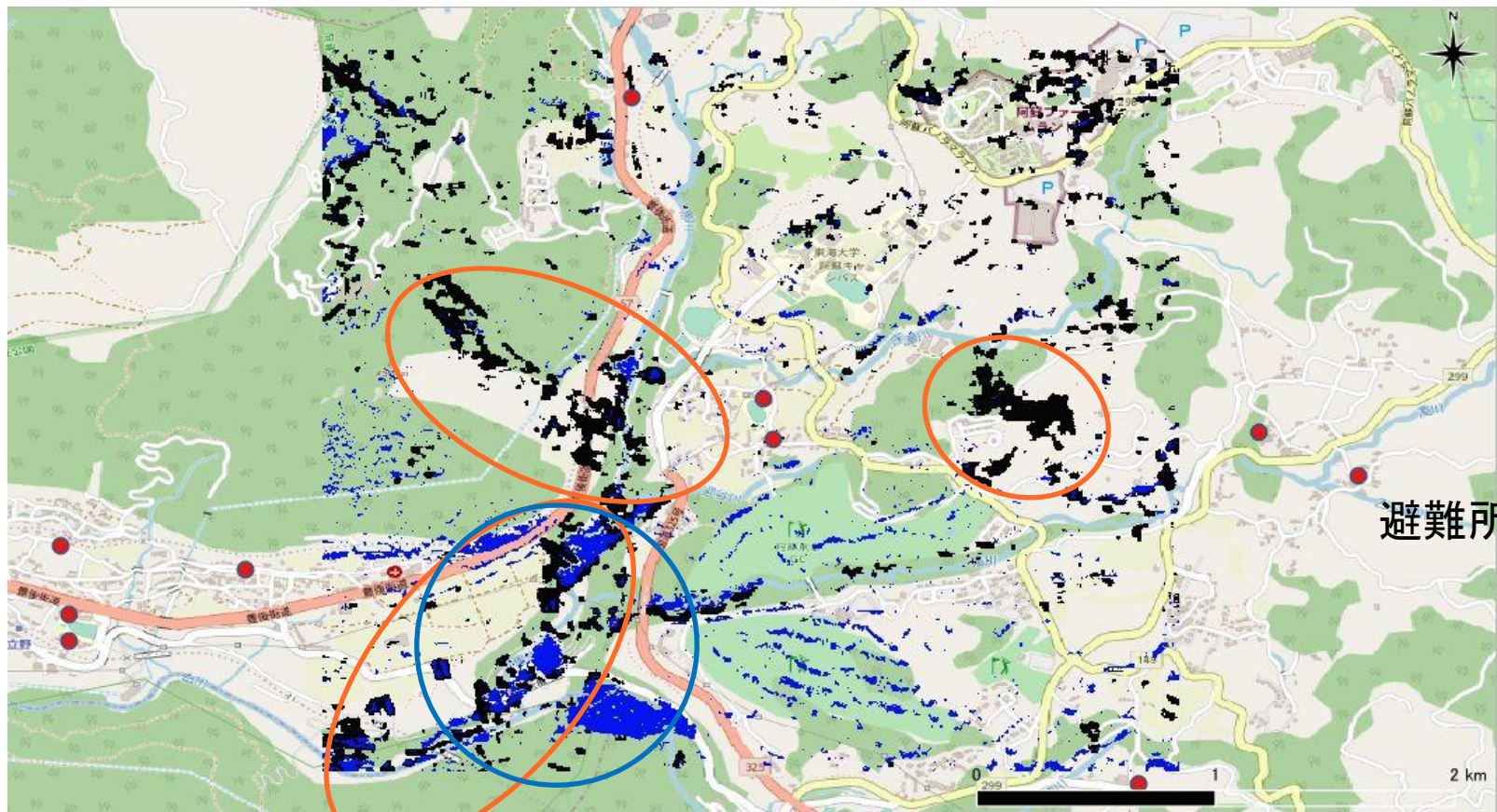
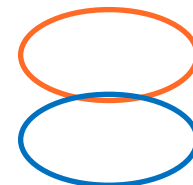


災害マップについて

大規模な土砂崩壊推定エリア

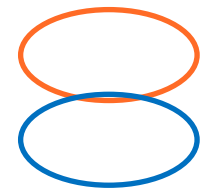
浸水？想定エリア

黒川

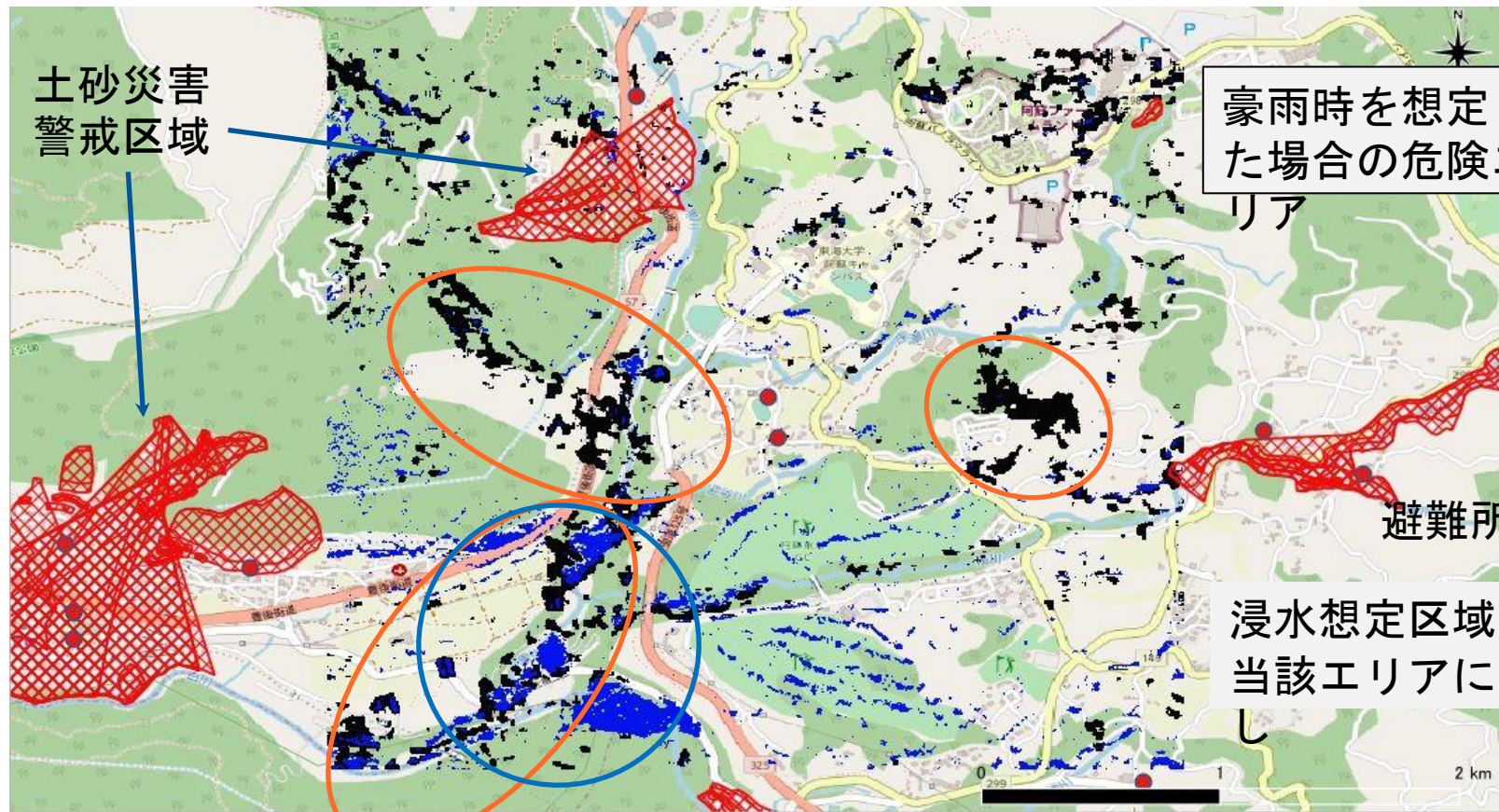


災害マップについて

大規模な土砂崩壊推定エリア
浸水？想定エリア



黒川



土砂災害
警戒区域

豪雨時を想定し
た場合の危険エ
リア

避難所

浸水想定区域は、
当該エリアにはな
し

特に工夫したポイント

→試みたこと

■ 降雨情報 土壌雨量指数	結果的に使用せず →地形に変位があった箇所(SARより抽出)を 脆弱な地域として評価
河道閉塞 (天然ダム)	災害後のSARデータを使用し、浸水想定と同様 の方法でやれば出てくるのでは？ ⇒土砂崩壊が生じている黒川近傍で、特徴的な 傾向が出ていた。